



運用実績

2010年2月末日現在

運用実績の推移



ファンドの概要

- 商品分類 追加型投信/内外/株式
- 信託設定日 2007年12月19日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則2、5、8、11月の各20日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額・純資産総額

基準価額	5,280円
(前月末比)	-241円
純資産総額	0.2億円
(前月末比)	0.0億円

分配実績(税引前)

(過去5期分)

期	日付	金額
第5期	2009.2.20	25円
第6期	2009.5.20	20円
第7期	2009.8.20	60円
第8期	2009.11.20	30円
第9期	2010.2.22	10円

設定来累計 325円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

期間別騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年	設定来
ファンド	-4.19%	-4.11%	-6.14%	35.10%	-36.04%	-	-44.06%

※ファンドの騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものと計算しております。

したがって、騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

※騰落率は、当資料作成基準日から各期間の応当日にさかのぼって計算しております。

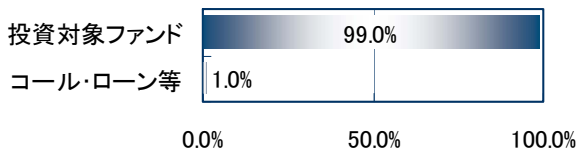
※基準価額の計算に当たっては信託報酬を控除してあります。

※基準価額および分配金は1万口当たりの額です。

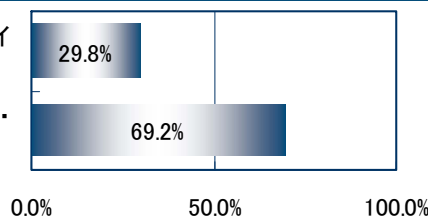
※騰落率は四捨五入して表示しております。

ポートフォリオの状況

2010年2月末日現在



FTIF-テンプレートン・グローバル・エクイティ・インカム・ファンド
テンプレートン・グローバル・エクイティ・インカム・ファンドⅡ



※比率は純資産総額比であり、四捨五入して表示しております。

※コール・ローン等=純資産総額(100%)ー投資対象ファンド

投資対象ファンドの資産内容 (組入状況と純資産額)

2010年2月末日現在 (現地)

	純資産	株式	債券	短期金融商品その他	計
<ルクセンブルグ籍> FTIF-テンプレートン・グローバル・エクイティ・インカム・ファンド	97億円	98.7%	0.0%	1.3%	100.0%
<ケイマン籍> テンプレートン・グローバル・エクイティ・インカム・ファンドⅡ	3億円	98.3%	0.0%	1.7%	100.0%

※比率は四捨五入してしておりますので、合計数字が一致しない場合があります。

※純資産は、本邦月末基準の三菱東京UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値で円換算。

※基準日時点で未払金等がある場合、株式組入比率が100%を超えることがあります。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

◆設定・運用は

フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第391号

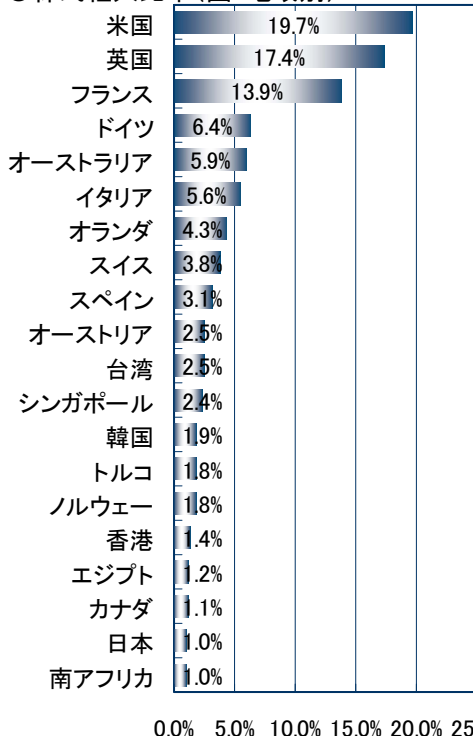
加入協会:社団法人投資信託協会、

社団法人日本証券投資顧問業協会

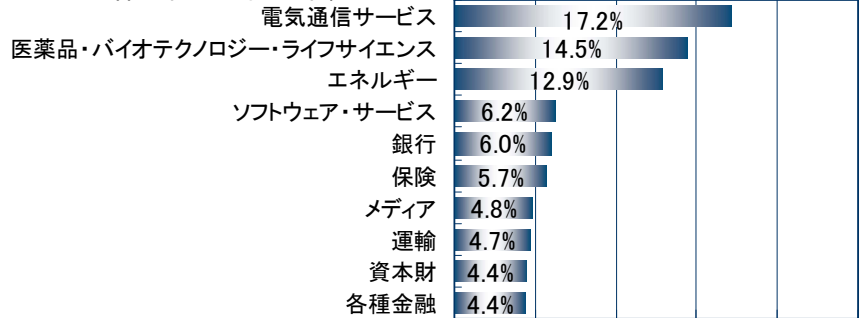
投資対象ファンドの資産内容 (株式組入状況)

FTIF-テンプレートン・グローバル・エクイティ・インカム・ファンド <ルクセンブルグ籍> 2010年2月末日現在(現地)

●株式組入比率(国・地域別)



●株式組入上位10業種



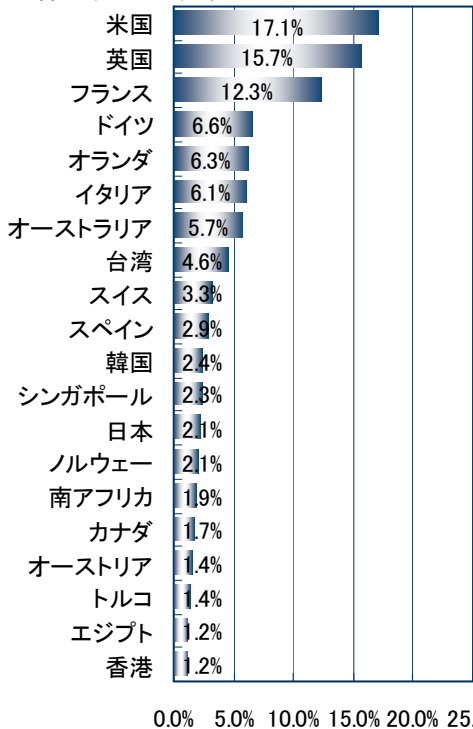
●株式組入上位10銘柄

銘柄名	国・地域名	比率
MICROSOFT CORP	米国	4.0%
SANOFI-AVENTIS	フランス	3.6%
PFIZER INC	米国	3.5%
VODAFONE GROUP PLC	英国	3.3%
BP PLC	英国	3.0%
ROYAL DUTCH SHELL	英国	3.0%
VIVENDI	フランス	2.8%
TOTAL SA	フランス	2.7%
TELEKOM AUSTRIA AG	オーストリア	2.5%
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS LTD	シンガポール	2.4%

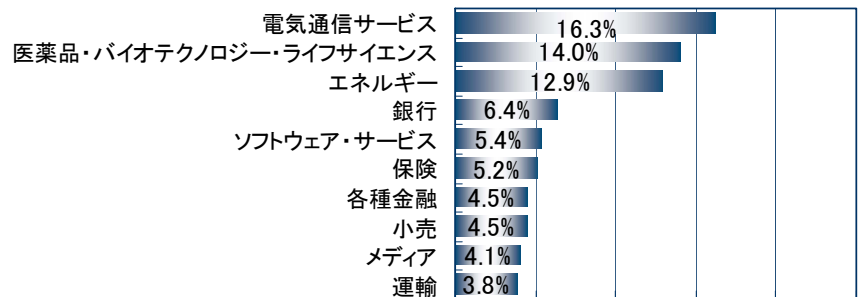
テンプレートン・グローバル・エクイティ・インカム・ファンドⅡ <ケイマン籍>

2010年2月末日現在(現地)

●株式組入比率(国・地域別)



●株式組入上位10業種



●株式組入上位10銘柄

銘柄名	国・地域名	比率
MICROSOFT CORP	米国	3.2%
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	台湾	3.2%
SANOFI-AVENTIS	フランス	3.1%
VODAFONE GROUP PLC	英国	2.8%
ENI SPA	イタリア	2.7%
TOTAL SA	フランス	2.7%
ROYAL DUTCH SHELL	英国	2.5%
GLAXOSMITHKLINE PLC	英国	2.4%
PFIZER INC	米国	2.4%
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS LTD	シンガポール	2.3%

*業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準(GICS)」の24の産業グループを使用しております。

*比率は純資産比であり、四捨五入して表示しております。

*組入銘柄につきましては「<参考情報>投資対象ファンドの組入銘柄について」も併せてご参照下さい。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

運用の状況

当月末(2010年2月26日)の基準価額は、前月末の5,521円から241円値下がりして5,280円となりました。世界の多くの株式市場は前月末とほぼ同じ水準で当月を終えましたが、外国為替市場で米ドル、ユーロ、英ポンドなどの主要通貨が円に対して下落したことを背景に、投資対象ファンドの基準価額(円建て)が下落しました。これらを受けて当ファンドの基準価額も値下がりしました。なお、当ファンドは2月22日に第9期の決算を行い、10円(1万口当たり・税引前)の分配を行いました。

<ご参考:投資対象ファンドの運用担当者のコメント(2010年2月)>

2月の世界の株式市場は、月中の値動きは大きかったものの、前月末と同水準で当月を終えました。概ね堅調な企業業績の発表が相次いだものの、先進諸国の経済指標は強弱まちまちとなったことに加え、一部の南欧諸国では財政悪化懸念が強まるなど、強弱材料が交錯しました。ギリシャなど南欧諸国の財政不安を背景に、欧州株式市場は総じて軟調な展開となり、外国為替市場ではユーロや英ポンドが米ドルや円などに対して下落しました。

業種別にみると、素材、資本財・サービス(資本財、商業・専門サービス、運輸)、情報技術(ソフトウェア・サービス、テクノロジー・ハードウェアおよび機器、半導体・半導体製造装置)などの株価が相対的に堅調に推移する一方で、公益事業、電気通信サービス、エネルギー、ヘルスケア(ヘルスケア機器・サービス、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)などの株価は相対的に軟調な展開となりました。

最近発表された経済指標は強弱まちまちの内容となっており、投資家は株価の上値を追うことに確信を持っていないようですが、現在の経済成長と企業業績は引き続き概ね堅調であると考えています。最近悪天候に見舞われている米国と欧州では、今後1~2か月の間に発表される経済指標がその影響を受ける可能性もありますが、これによって長期的な景気回復の見通しには変更がないと考えています。一方、深刻な財政不安をかかえるギリシャなどの南欧諸国では、歳出の大幅削減が避けられず、今後の経済成長に悪影響を及ぼす可能性があると考えています。こうしたことから、南欧を中心に欧州株式市場への投資家の期待感が後退することがあると思われませんが、最近の株価が相対的に大きく下落したことから、欧州では世界に事業展開している優良な企業などのバリュエーション面での魅力が増していると考えます。ファンドでは、引き続き予想配当利回りが高く、長期的な企業価値の拡大が期待される割安な銘柄に投資を行ってまいります。

※上記コメントは、投資対象ファンドの運用担当者が作成したコメントの抜粋です。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

ファンドの特色

1 実質的に世界各国の株式に投資を行います。

当ファンドは、フランクリン・テンプレートン・グループが運用する2つの外国投資証券(以下「投資対象ファンド」)を通じて、主として世界各国の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。

※2つの投資対象ファンドの組入れは、投資対象ファンドの資金動向や資産状況等を勘案して行います。

2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

投資対象ファンドは、複数の通貨建ての有価証券等に投資しますので為替相場の変動の影響を受けます。

3 年4回(2、5、8、11月)決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

※分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合があります。

<投資対象ファンド>

1. バリュエーション株式へ投資を行います。

テンプレートンの投資理念に基づいて評価した企業価値に対して、現在の株価が著しく割安と判断される銘柄を選定し、“バーゲンリスト”を作成します。“バーゲンリスト”の中から、主に配当利回りが魅力的な銘柄に投資します。

2. 特定の業種、国、地域等への投資配分を定めず、ボトム・アップ アプローチによって世界各国の株式市場の中からベストバリュエーションを探し出します。

3. 組み入れる株式は、新興国の株式を含みます。

4. 為替ヘッジは行いません。

※「ビクトリア号」が投資する外国投資証券は円建てです。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメント株式会社で作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

<主な投資リスク> 当ファンドの投資にあたっては、主として下記のようなリスクが想定されます。

当ファンドの運用により生じた利益および損失はすべて投資家の皆様に帰属します。取得申込者は、当ファンドにかかる以下のリスクを認識することが求められます。(なお、当ファンドのリスクは以下に限定されるものではありませんのでご注意ください。)

1.価格変動リスク	<p>○有価証券等の価格変動リスク 当ファンドは、外国投資証券(投資対象ファンド)への投資を通じて世界各国の株式などの値動きのある有価証券等に投資します。したがって、当ファンドの基準価額は、当ファンドおよび投資対象ファンドが組入れたこれら有価証券等の市場価格の変動による影響を受けます。</p> <p>○為替変動リスク 外貨建資産への投資を行う場合には、為替相場の変動による影響を受けます。当ファンドは、実質的に複数の通貨建ての有価証券等に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動の影響を受けます。</p>
2.流動性リスク	<p>市場規模や取引量が少ない場合、組入有価証券等を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があり、不測の損失を被ることがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。</p>
3.信用リスク	<p>当ファンドおよび投資対象ファンドが保有する有価証券等の発行体および有価証券等の取引の相手方の経営・財務状況の変化ならびにそれらに関する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。</p>
4.カントリーリスク	<p>世界各国の金融・証券市場への投資は、それらの国・地域の政治、経済および社会情勢の変化等によって市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな制限や規制が設けられた等の場合には、運用上の制約を受ける可能性があります。このような場合に、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。また、新興国の金融・証券市場への投資には、政治・経済構造が先進国と比べ不安定であるため、投資環境の急変により市場が混乱した場合や取引に対して新たな制限や規制が設けられた場合、運用上の制約を大きく受ける可能性が想定されます。このような場合に、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。</p>

※その他、ご投資にあたっては、ご留意事項がございますので投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

<投資信託ご購入時の注意点>

- 当ファンドは、外国投資証券への投資を通じて、主として世界各国の株式に投資を行います。当ファンドの基準価額は、外国投資証券および外国投資証券の組入れた有価証券等の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、外国投資証券および外国投資証券の組入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は預金等ではなく、預金保険機構の保険金の支払対象ではありません。
- 投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の補償対象契約ではありません。
- 投資信託は元本は保証されていません。
- 登録金融機関は、金融商品取引業者とは異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

フランクリン・テンプレートン・グループとは...

- フランクリン テンプレートン インベストメンツは、米国において60年以上の歴史を持ち、世界30カ国に50以上の拠点を有する独立系資産運用グループです。
- フランクリンやテンプレートンのブランドで広く親しまれているプロダクトを通じて、個人や法人のご投資家の皆様にそれぞれの投資目的や資産運用ニーズに応じた運用商品やサービスを提供しています。
- グループの持株会社であるフランクリン・リソース・インク(ニューヨーク証券取引所に上場)は、1998年4月に資産運用会社としては初めて米国株式市場の代表的指数である「S&P500株価指数」に採用されました。

設立	1947年
本拠地	米国カリフォルニア州サンマテオ市
運用総資産	5,535億米ドル(約51.5兆円*)
拠点	30カ国50拠点以上
従業員数	7,700人以上
持株会社	フランクリン・リソース・インク (ニューヨーク証券取引所上場、S&P500採用銘柄)
	(2009年12月末現在)
	*2009年12月末WMロイター(1ドル=93.095円)で換算

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

<お申込みメモ> (お申込みの際は投資信託説明書(目論見書)をご覧ください)

信託設定日	2007年12月19日
信託期間	原則として無期限 ※ただし受益権の残存口数が5億口を下回ることになった場合、受益者のために有利と認められる場合、やむを得ない事情が発生したとき等は、信託を終了する場合があります。
取得のお申込み	原則としていつでもお申込みいただけます。ただし、ニューヨーク証券取引所またはニューヨークにおける銀行の休業日には取得のお申込みの受付を行いません。取得申込みの受付は、原則として午後3時までです。ただし、受付時間は販売会社によって異なることもありますので、ご注意ください。なお、これらの受付時間を過ぎてからのお申込みは翌営業日の取扱いとなります。
お申込単位	販売会社が定める単位です。 収益分配金の受取方法により、収益分配時に収益分配金を受け取る「一般コース」と、収益分配金が税引後自動的に無手数料で再投資される「自動けいぞく投資コース」の2コースがあります。なお、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。また、「一般コース」および「自動けいぞく投資コース」いずれも取扱う販売会社において、受益権の取得申込みをされる場合は、「一般コース」または「自動けいぞく投資コース」のいずれかのコースをお選びいただくこととなります。詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。
お申込価額	取得申込受付日の翌営業日の基準価額です。
決算日	原則として、2月、5月、8月、11月の各20日(ただし、休業日の場合は、翌営業日)です。
収益分配	毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 「自動けいぞく投資コース」の場合には、原則として分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。
ご換金の請求	原則としていつでもご換金の請求ができます。ただし、ニューヨーク証券取引所またはニューヨークにおける銀行の休業日には、ご換金の請求の受付を行いません。※ご換金の請求の受付は、原則として午後3時までです。ただし、受付時間は販売会社によって異なることもありますので、ご注意ください。なお、これらの受付時間を過ぎてからのご換金の請求は翌営業日の取扱いとなります。
ご換金単位	1口単位です。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額です。
ご換金代金のお支払い	原則として換金請求受付日から起算して5営業日目以降になります。
課税関係	原則として、収益分配時の普通分配金ならびに一部解約時および償還時の譲渡益に対して課税されます。 詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。 ※個人の投資家の場合です。法人の投資家の場合は異なる税金の取扱いとなります。 ※税法が改正された場合には、上記の内容が変更になることがあります。

【お客様には以下の費用をご負担いただきます。】

■お申込時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料	取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、3.675%(税抜3.5%)を上限として販売会社がそれぞれ定める手数料率を乗じて得た額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。なお、「自動けいぞく投資コース」をお申込みいただいた方が、収益分配金を再投資する場合には、お申込手数料はかかりません。
--------	--

■ご換金時に直接ご負担いただく費用

ご換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	ファンドの純資産総額に年1.2075%(税抜1.15%)の率を乗じて得た額です。 (投資対象ファンドの加重平均運用報酬率※は年0.65%程度が上限となります。したがって、当ファンドの信託報酬率と投資対象ファンドの加重平均運用報酬率を合計したものは年1.8575%程度が上限(概算)となります。)※運用報酬の他に管理費用等がかかります。
その他費用	・投資信託財産に関する租税・信託事務の処理に要する諸費用・投資信託財産に係る監査費用・有価証券の保管費用等 (その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に金額、上限額等を表示することができません。)

※手数料・費用等には事前に計算できないものがあるため、その合計額を表示することができません。

<委託会社、その他の関係法人>

委託会社：フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社 受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社
(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

基準価額等については、委託会社の下記照会先までお問い合わせ下さい。
電話番号：03-3535-1299 (9:00~17:00 土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除く)
ホームページ：http://www.franklintempleton.co.jp/

販売会社：お取扱販売会社は次ページの販売会社一覧をご覧ください。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(目論見書)」をお渡します。必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

「テンプレートン世界バリューストックファンド(愛称:ビクトリア号)」販売会社一覧

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	(社)金融先物取引業協会	(社)投資信託協会	(社)日本証券投資顧問業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○			○

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメントズ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(目論見書)」をお渡しますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

<参考情報> 投資対象ファンドの組入銘柄について

2010年2月末日現在(現地)

銘柄	国・地域	業種	銘柄解説	PER	PBR
MICROSOFT CORP マイクロソフト	米国	ソフトウェア・サービス	世界大手のコンピュータ・ソフトウェア会社で、ソフトウェア製品の開発、製造、ライセンス供与、販売およびサポートを手掛けています。	15.09倍	5.70倍
SANOFI-AVENTIS サノフィ・アベンティス	フランス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	処方薬メーカーで、循環器系や中枢神経系の疾患、内科的疾患や腫瘍用の治療薬を生産しています。また、肺動脈高血圧用治療薬、うつ血性心不全用治療薬、良性前立腺肥大症用治療薬なども手掛けています。	13.33倍	-
PFIZER INC ファイザー製薬	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	世界大手の製薬会社です。循環器系、中枢神経系、感染症、アレルギー系、疼痛・関節系、泌尿器系、眼科系、ガン、内分泌系などの幅広い疾患分野で革新的な新薬を世に送り出しています。	8.65倍	1.57倍
VODAFONE GROUP PLC ボーダフォン・グループ	英国	電気通信サービス	音声・データ通信をはじめとする移動通信サービス会社で、欧州大陸、英国、米国、東アジアで事業を展開しています。	12.89倍	0.85倍
BP PLC BP	英国	エネルギー	世界大手の総合エネルギーグループ企業であり、石油と天然ガスの探査、生産、精製、販売だけでなく、石油製品の販売、太陽光発電、化学品の製造・販売も手掛けています。	9.96倍	1.63倍
ROYAL DUTCH SHELL ロイヤル・ダッチ/シェル	英国	エネルギー	世界中でエネルギー関連事業を展開しています。同社グループの主要事業構成は、探鉱/開発事業、石油製品事業、天然ガス・電力事業、石油化学事業、そして再生可能エネルギー事業や水素燃料などを含むその他の事業の5つの分野から成り立っています。	13.34倍	1.22倍
VIVENDI ビベンディ	フランス	メディア	子会社を通じて、音楽、ゲーム、テレビ、映画、通信と広範囲な事業を展開する多角経営企業です。デジタル・テレビおよび有料テレビ・サービスの提供、ミュージックCDの販売、娯楽番組の制作・配給、携帯および固定回線通信の運営などを手掛けています。	26.81倍	1.03倍
TOTAL SA トタル	フランス	エネルギー	石油と天然ガスの探査、生産、精製、輸送、販売を手掛け、ポリエチレン、ゴム、塗料、接着剤、樹脂などを製造する化学品部門も有しています。また、欧州、米国、アフリカでは「Total」名のガソリンスタンドを運営しています。	10.81倍	1.74倍
TELEKOM AUSTRIA AG テレコム・オーストリア	オーストリア	電気通信サービス	オーストリア国内で固定、携帯電話、インターネット、データ送信サービスを提供する通信サービス会社です。リヒテンシュタイン、スロベニア、クロアチアでもインターネット接続サービスおよび携帯電話サービスを提供しています。	45.86倍	2.64倍
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS LTD シンガポール・テレコム	シンガポール	電気通信サービス	通信システムとサービスを提供し、郵便や電話帳での広告、刊行も手掛けています。通信機器の販売とメンテナンス、携帯電話サービス、コンピューターネットワーク、インターネットとITサービスなど多角的に事業を展開しています。	12.79倍	2.17倍
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD 台湾積体回路製造	台湾	半導体・半導体製造装置	ウエハーやマスクの製造、関連サービス等を提供する半導体メーカーです。同社のIC(集積回路)はコンピュータ、通信、消費者向け電子製品、自動車、産業機器などに使用されています。	17.04倍	3.08倍
ENI SPA イタリア炭化水素公社	イタリア	エネルギー	イタリア、アフリカ、北海、メキシコ湾、カザフスタン、オーストラリアで炭化水素の探査、生産に従事しています。イタリアをはじめとする欧州諸国向けに天然ガスを生産するほか、パイプラインを用いた天然ガス輸送、発電および電力取引、石油精製、給油所経営も手掛けています。	13.26倍	1.43倍
GLAXOSMITHKLINE PLC グラクソ・スミスクライン	英国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ワクチン、処方箋、市販薬、その他個人向け医療関連商品を開発、製造、販売する医薬開発グループです。ラボ検査、疾患予防サービスのほかに、呼吸器系、中枢神経系、消化器系、遺伝子障害の治療も手掛けています。	11.13倍	6.30倍

※当資料は、各投資対象ファンドの組入上位10銘柄について、各企業のホームページ、Bloomberg等の情報を基にフランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成しました。組入銘柄が重複している場合は記載を省略しております。

※業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準(GICS)」の24の産業グループを使用しております。

※PER(株価収益率)・PBR(株価純資産倍率)は、Bloombergのデータを使用しております。

※当資料は、投資対象ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的として作成したものであり、特定銘柄の売買等の推奨をするものではありません。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。